

答えは、

「ケガした時にぬった消毒液（しょうどくえき）」だよ。

むかしは転んでケガした時などは、必ずぬってもらったんだ。赤い液体（えきたい）だったので「赤チン」と呼ばれたんだけど、「赤いヨードチンキ」という意味なんだ。

今ではケガした時には、透明（とうめい）な消毒液でまず消毒して、その上から「バンド■■■」というようなテープをはって、ばい菌が入らないようにするけど、むかしの人はこの「赤チン」をぬっただけだったので、みんなのひざ小僧は真っ赤だったんだ。



試しに「赤チン」をぬってみたよ

小さいガラスのビンに入っていて、綿（わた）にしみこませて傷口（きずぐち）にぬっていたんだ。みんなが使っていたので、「ABCのうた」の替え歌（かえうた）にもなって、むかしの子どもはよく歌っていたんだよ。